



Baika Library Times

ブラウジングの効用

情報メディア学科講師 瀬戸口 誠

ブラウジング (browsing) という行為がある。これは、「明確な検索戦略を持たずに、偶然の発見を期待して漫然と情報を探すこと」を意味している。例えば、特に決まった目的もなく、書店や図書館等で図書の背表紙を気の向くままにながめ読みしたり、朝食時に新聞を手にとって中身を拾い読みすること等多様な行為を挙げることができる。今挙げた事例でもわかるように、我々は日常生活で多くのブラウジングを行っており、時に思いがけず(有用な)情報を発見した経験が誰にでもあるだろう。先ほどの例で言えば、図書館の書架で図書の背表紙をながめ読みしていて、偶然ずっと読みたかった本を発見すること等がそれに当たる。このように考えると、何か情報を探すという行為は、明確な目的を持って行う場合とブラウジングのように漫然と行う場合に分けて考えることができる。以下では、情報を入手する窓口(ポータル)としての検索エンジンと図書館に焦点を当て、ブラウジングとの親和性を考えてみたい。



インターネット上の情報を探すには、大多数の人が検索エンジンを利用するだろう。検索エンジンの主流になりつつあるGoogleに代表されるロボット型検索エンジンでは、探索者自身が必要な情報がヒットするようなキーワードを検索フォームに入力し、検索を行う。つまり、検索エンジンで情報を探すためには、自分が欲しい情報を単一の、あるいは複数のキーワードに置き換える作業が常に必要となる。この意味で、インターネット上での情報探索は、図書館等で行うブラウジングに比べると、明確な探索目的を持った(持っている必要がある)探索と言えるだろう。キーワードの選定や検索エンジンの性能もあるが、キーワードにヒットした情報は、(探索者が)期待していた検索結果とそれほど大きく異なることはないだろう。また、検索エンジンでヒットした情報の内容を吟味する際に、探索者は検索結果の上位に表示されたものしか見ないという調査結果もある(これに関しては、ディスプレイの問題等もあるのかもしれない)。このように見ると、検索エンジンで情報を探すことは、偶然の発見を期待して漫然と情報を探すというブラウジングに若干相容れない部分がある(もちろん、ブラウジングに適したGoogleニュースやYahooニュース等の例もあるが)。

翻って、図書館での情報探索はどうだろうか。現在、図書館では、蔵書を探すためのOPACや各種データベース等多様な電子情報源が利用できるようになっている。また、雑誌記事・論文も電子媒体で提供されることが多くなり、従来の滞在型図書館の役割は変化しつつある。しかし、紙媒体の図書や雑誌を収集・提供する滞在型図書館は決してなくなりたくない。なぜなら、図書・雑誌が主題や誌名ごとに分類・整理された図書館は、ブラウジングするのに最適の場所だからである。私自身、図書館の書架をブラウジングしていて、大変有用な図書や雑誌記事に数多く出会うことが出来た。是非、学生のみならずも授業の空き時間等を利用して、ブラウジングしに図書館へ行ってみましょう。



目次:

ブラウジングの効用	1
梅花女子大学図書館事情 - アンケート集計結果 -	2
お薦め図書	7
8151枚????	8
2007年度後期 図書館 展示と講演会のお知らせ	10
4階南児童文学のフロア 「お薦め絵本コーナー」新設	12

梅花女子大学図書館事情 - 「授業中ガイダンス」のアンケート集計結果 -

2007年度前期 授業中ガイダンス開催実績

学科	学年	回数	人数	備考
人間福祉	1	3	62	*
人間福祉	1	1	25	館内案内のみ
人間福祉	2~3	4	72	
人間福祉	4	1	9	
心理	1	3	62	*
生活環境	1	1	19	*
国際英語	-	0	0	
児童文	1	2	46	*
日本文化創造	-	0	0	
情報メディア	-	0	0	
大学合計		15	295	
生活科学	1	3	88	*
英語コミュニケーション	-	0	0	
日本語表現	1	2	27	*
短期大学部合計		5	115	
文献探索	1~3	2	56	**
その他合計		2	56	
総合計		22	466	

「授業中ガイダンス」とアンケートの趣旨について

4月～6月にかけて、新入生に対し基礎演習等の時間に「授業中ガイダンス」として、メディアセンターから「情報倫理」のビデオ視聴、その後図書館から“本学所蔵資料の探し方（OPACの使い方）”の説明を行いました。（右表「2007年度前期 授業中ガイダンス開催実績」の*印）

OPACの使い方の説明を行った後、今回初の試みとして、「各自が好きなテーマ、タイトル等で資料を検索し、図書館に移動し、その資料を探し、取り出す」という演習を実施。その過程をプリントに記入してもらいました。この演習の後、アンケートに回答していただきました。

ガイダンスでこのようなアンケートを実施するのも今回が初めてです。各設問に対して現在の本学学生の傾向を捉えられればと思い、実施しました。

紙面の関係で、設問のうちいくつかをピックアップし、グラフと表に示しました。表中の上段の数字は人数です。

2年生以上は、ゼミ単位で各先生のご要望に応じた内容で実施しました。アンケートもとらせていただいたのですが、今回は、1年生のみを集計対象としました。ご了承ください。（アンケートの回収率は69.1%（81名中56名））

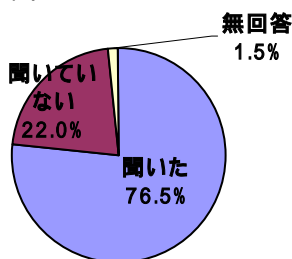
集計対象：・右表*印と**印

- ・「文献探索」の授業で回答していただいたものは、その中から1年生のものを各学科に振り分けて、以下のグラフ・表に反映させました。学科無記名のもの（2名）は「不明」としました。
- ・回収率は74.4%（360名中268名）。

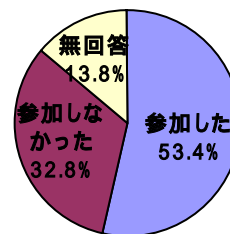
注）以下の円グラフは、大学、短期大学部、学部不明の各合計の数値を表しています。誌面の関係で学科間の差が見られなかったものについては、表を割愛しています。

□ 4人中3人が入学時の「学生生活についてのガイダンス」で図書館の説明を聞いています。

図書館の説明を聞きましたか？



説明後の図書館見学に参加しましたか？



	現代人間学部	文化表現学部	大学合計	短大学部合計	不明	合計
聞いた	92 (71.9%)	36 (90%)	128 (76.2%)	75 (76.5%)	2 (100%)	205 (76.5%)
聞いていない	35 (27.3%)	3 (7.5%)	38 (22.6%)	21 (21.4%)	0 (0%)	59 (22%)
無回答	1 (0.8%)	1 (2.5%)	2 (1.2%)	2 (2.1%)	0 (0%)	4 (1.5%)
合計	128 (100%)	40 (100%)	168 (100%)	98 (100%)	2 (100%)	268 (100%)

	現代人間学部	文化表現学部	大学合計	短大学部合計	不明	合計
参加した	65 (50.8%)	23 (57.5%)	88 (52.4%)	53 (54.1%)	2 (100%)	143 (53.4%)
参加しなかった	58 (45.3%)	8 (20%)	66 (39.3%)	22 (22.4%)	0 (0%)	88 (32.8%)
無回答	5 (3.9%)	9 (22.5%)	14 (8.3%)	23 (23.5%)	0 (0%)	37 (13.8%)
合計	128 (100%)	40 (100%)	168 (100%)	98 (100%)	2 (100%)	268 (100%)

入学時の「学生生活についてのガイダンス」では、澤山記念館でパワーポイントを使って、図書館の利用について、施設・設備について等を説明しました。

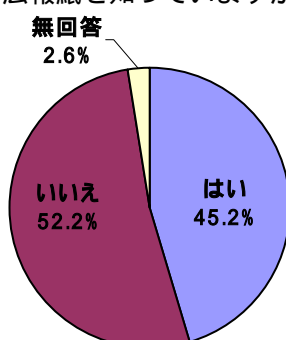
文化表現学部で「授業中ガイダンス」を実施できたのが、児童文学科だけでした。説明を聞いた方は90%です（「文献探索」受講の情報メディア学科3名を含む）。一方、図書館見学の参加者は、どの学科も50%台にとどまっています。図書館利用の第一歩として、「図書館がキャンパス内のどこにあり、どのような施設・設備・サービスがあり、どのような雰囲気のところか」を入学後早い時期に知ってもらい、それにより、次のステップとして、「図書やCDを借りよう、DVDビデオを観よう」等に進むことができると考えます。

新入生時に「図書館の説明を聞き、館内見学をした」という学生が100%になるよう、努力・工夫したいと思います。

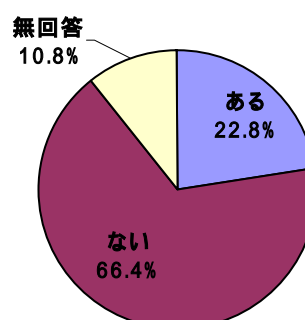
なお、「学生生活についてのガイダンス」で、“Library Guide”と“Floor Map”を配布しました。まだ受取っていない方は、図書館内「ご自由にお取りください」のコーナーに置いてありますので、お取りいただき、お読みください。図書館についての役立つ情報が載っています！

□図書館広報紙（BLT: Baika Library Times）を知っている1年生は半分以下！

図書館広報紙を知っていますか？



図書館広報紙を読んだことがありますか？



	現代人間学部	文化表現学部	大学合計	短大学部合計	不明	合計
はい	54 (42.2%)	29 (72.5%)	83 (49.4%)	38 (38.8%)	0 (0%)	121 (45.2%)
いいえ	72 (56.2%)	8 (20%)	80 (47.6%)	58 (59.2%)	2 (100%)	140 (52.2%)
無回答	2 (1.6%)	3 (7.5%)	5 (3%)	2 (2%)	0 (0%)	7 (2.6%)
合計	128 (100%)	40 (100%)	168 (100%)	98 (100%)	2 (100%)	268 (100%)

	現代人間学部	文化表現学部	大学合計	短大学部合計	不明	合計
ある	25 (19.5%)	18 (45%)	43 (25.6%)	18 (18.4%)	0 (0%)	61 (22.8%)
ない	95 (74.2%)	8 (20%)	103 (61.3%)	74 (75.5%)	1 (50%)	178 (66.4%)
無回答	8	14	22	6	1	29
合計	128 (100%)	40 (100%)	168 (100%)	98 (100%)	2 (100%)	268 (100%)

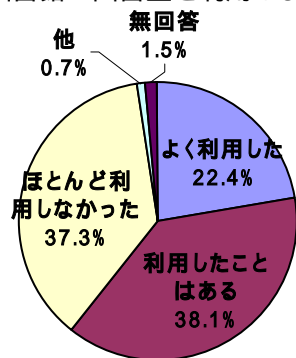
図書館広報紙「Baika Library Times」（以下、BLT）の知名度が半分以下と低く、読んだことのない方が大半でした。「無回答」は「知らない」と答えた方が、この問いに答えなかった方も含んでいますので、「読んだことがない」は70%を超えます。

「BLT」には、先生方が学生の皆さんに向けて寄せてくださった一文、図書館の行事、お薦めの資料、統計、新サービスの紹介等、皆さんに役立つ情報が満載です。年2回（4月と10月）発行しています。

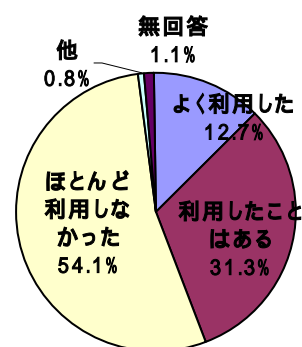
「BLT」は、入学式の配布資料の1つでした。学生の皆さん全員にお配りするのは、このときだけです。それ以降は、図書館内の「自由にお取りください」のコーナーに置いてあります。また、図書館ホームページから最新号、バックナンバーも読むことができます。今まで読んだことがない方は、是非ご覧下さい。今後は、大学のWebメールでの配信等、皆さんに読んでもらいやすいものを目指し、PRに努めたいと思います。

□高校時代の図書館利用

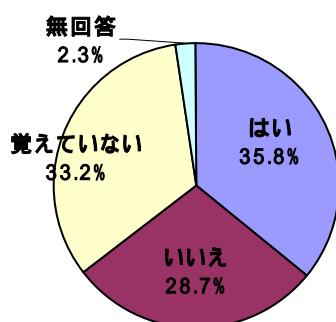
高校の図書館・図書室を利用しましたか？



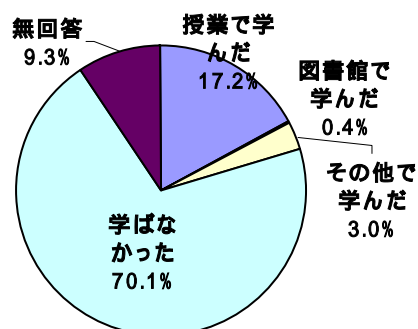
公共図書館を利用しましたか？



図書館の使い方を学びましたか？



レポートの書き方を学びましたか？



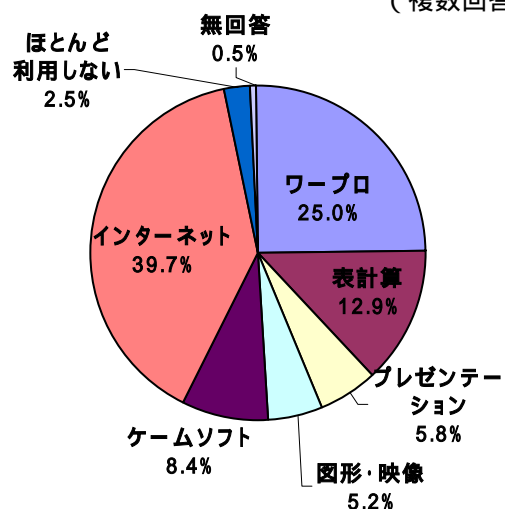
教科「情報」を修了した新生者が、高校時代、どの程度図書館の利用をされてきたか、使い方を学ばれたかということも捉えたいと思い設問しました。アンケートにお答えいただいた268名中、高校の図書館・室を「よく利用した」「利用したことがある」という学生は、合わせて162名(60.5%)でした。公共図書館は、118名(44%)でした。また、図書館の使い方を学んだ学生は、96名(35.8%)、レポートの書き方を学んだ学生は、55名(20.6%)でした。

図書館は、在学中の日々の学習、卒業論文・レポート作成のための資料集めに欠かせない場所です。また、ビジネス支援を行っている公共図書館もありますので、卒業後もいろいろな情報・データを収集することができます。もちろん当館も卒業後の利用が可能です。

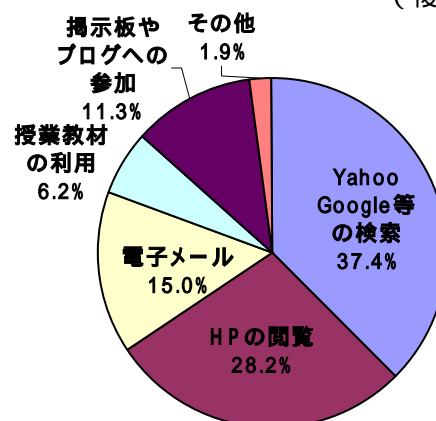
大学時代は、図書館の使い方、文献・情報・データの集め方を体系的に学ぶことができる最後のチャンスかもしれません。資料集めに困ったとき、探している資料が見つからないとき、OPAC(蔵書目録検索)の使い方がわからない、どこに図書が置かれているかわからない等、図書館や資料に関することでしたら何でも、図書館3階にある「レファレンス・カウンター」にご相談ください。お待ちしております！

□コンピュータの利用は、インターネットが1位！

あなたはパソコンのどの機能を利用していますか？
(複数回答可)



インターネットの中で利用するものは何ですか？
(複数回答可)



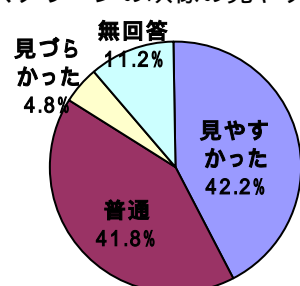
パソコンでよく利用されている機能の順位は、どの学科もインターネットが1位、ワープロソフトが2位、次いで表計算ソフト、もしくはゲームソフトでした。

インターネットの利用は、Yahoo、Google等の検索エンジン、ホームページの閲覧が多いようです。

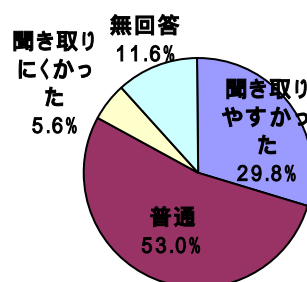
その他では、ホームページ作成・運営、ショッピング、チャット等です。中には韓国語でご自分のミニホームページを作成されている方もいらっしゃいました。

□ガイダンスについての感想

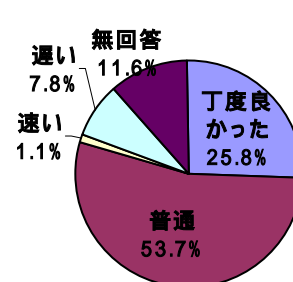
スクリーンの映像の見やすさ



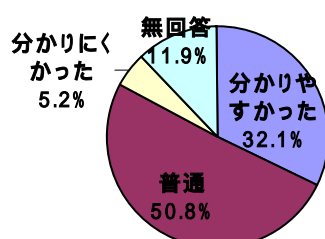
音量について



説明の進め方



説明内容の分かりやすさ



ガイダンスは、毎回あちこちのコンピュータ教室をお借りして行っています。教室の設備の関係でスクリーンが見づらかったり、説明者の声の通り具合もあり聞きづらかったりといったことがあったものと思います。

今後はテキストの内容、説明の仕方、時間配分等を検討し、より分かりやすいガイダンスを行いたいと思います。

現代人間学部

人間福祉学科

- ・とても分かりやすかったです。
- ・すごいなぁと思いました。
- ・いっぱい絵本あった。たのしい。
- ・DVDをもっと増やして欲しいです。
- ・図書館が大きくてびっくりした。
- ・これからどんどんOPACを使っていこうと思った。
- ・すごく便利な図書館だと思った。公共の図書館よりたくさん種類があってびっくりした。

心理学科

- ・図書館でワードのできるパソコンを増やしてほしいです。
- ・まんがを最近の入れて下さい。
- ・文庫本を増やしてほしいです。
- ・図書館ホームページの利用の仕方がよくわかった。

生活環境学科

- ・とても分かりやすかったです。
- ・請求記号のことがよくわからなかったので探し方が分かってよかったです。

文化表現学部

児童文学科

- ・個別閲覧室の利用方法やレポート等の書き方についても教えていただけたらとおもいます。
- ・実際に使いながら説明を聞けたので非常によく分かりました。
- ・マイクの音が気になってしまった。少し進むのが速くて、分からなくなる時があった。
- ・入学して何度も利用させていただいていますが、わかりやすいです。
- ・もう結構使っていたから、だいたいはわかってたけど、更によくわかりました。
- ・実際に図書館に行って探すより楽だと思ったけど、実際にだらだらと本棚を見てまわる方がすきです。

みなさんのアンケートの
ご意見・ご感想を掲載しました。

短期大学部

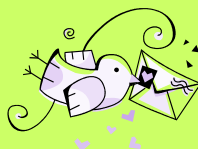
生活科学科

- ・探したい本が見つかってよかった。
- ・パソコンが苦手なので、コンピューターAの授業をとっているのですが、分からない人に丁寧におしえてください。よろしくおねがいします。
- ・わかりやすかったです。
- ・図書館を時間があればぜひ利用してみたいと思いました。
- ・説明がすごいわかりやすく、パソコンは、すごい便利やと思った。
- ・どんどん使っていきたいと思いました。
- ・調べるのが楽しかったです。
- ・パソコンで検索できるなんて便利だと思った。
- ・今度、行きたい。
- ・またパソコンとか使いにこようと思いました。

日本語表現科

- ・ライトノベルをもっと置いてほしい。
- ・マイクの調子が悪いのが、きつかった。耳がいたかった。
- ・読みたい本がおいてなかったのもっとふやしてほしいです。

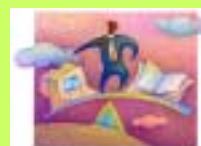
図書館からのメッセージ



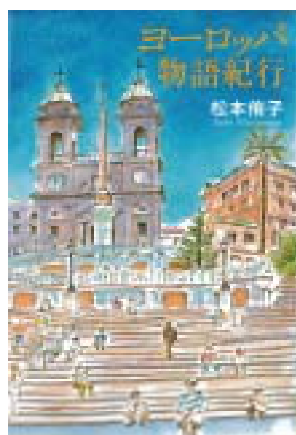
みなさんへ

今回、アンケートからたくさんのご意見・ご感想をいただき、ありがとうございました。

これらの結果をふまえて、みなさんが利用しやすい図書館として機能できるよう努めたいと思います。



お薦め図書



『ヨーロッパ物語紀行』

松本侑子著 幻冬舎 2005年 11月刊
(所在：4階南 請求記号：904#MA81)

外国文学は分かりにくいという声をよく聞くことがあります。その原因は、作品の背景となる各国の事情が日本と大きく違うところにあります。例えば、ヨーロッパは陸続きのため各国の文化や歴史が複雑に入りこんでいることなどの予備知識が文学を読む上で必要な基礎知識となります。

本書では「ロミオとジュリエット」や「フランダースの犬」といった文学の作者や執筆当時の政治状況を切り口に、イタリアやオランダ、ドイツなどの文化や歴史を紹介しています。誰でも知っている文学作品が題材になっている上、各章がコンパクトにまとめられていることや、物語の舞台となった場所の写真を多く掲載していることから、視覚的にも理解できるようになっており、より外国文学を身近に感じることができるでしょう。この本を手引き書に外国文学の世界へ足を踏み入れてはいかがでしょうか。



関連図書：『名作の舞台をゆく：思い出のシーンを探す旅50』

ロム・インターナショナル編 東京書籍 2002年8月刊
(所在：4階南 請求記号：902.5#R66)

『ドロップ』

シルヴィア・ファン・オメンさく；よこやまかずこやく
竹書房 2003年12月刊
(所在：4階絵本 請求記号：絵本#O62)



最近、絵本を読む事はありますか？

紹介する『ドロップ』は、色彩豊かな作品ではありませんが、味わいのある筆致で描かれた無彩色で落ち着いた世界が広がっています。登場するウサギのヨリスとネコのオスカーも無表情で、そんなに愛嬌があるとはいえません。でも、なぜか知的な二人です。また、文章も短く、字体も気の抜けた感じがします。しかし、全体的に親しみやすさがあります。

ページを開いて読み出すと、二人の淡々とした会話の世界になぜか引き込まれていきます。決して束縛するのではなく、かといって遠くに離れすぎず、信頼しあった者同士の居心地の良い距離感。こんなつながりを持った友達との出会いに憧れます。そして、また何度も読み返したくなります。

どちらかといえば、本はこうあるべきだと字面の多い本にはまり込み、活字中毒になっている人には「ゆるやかな書」として、あるいは気忙しく生きている人には「和みの書」として、本書を薦めたいと思います。意外な奥の深さに気づいてもらえるかもしれません。

8151枚?????

この数字は、いったい何を表しているのでしょうか？
 実は、昨年度他館より当館に依頼された文献複写（コピー）枚数の総合計です。
 もちろん、反対に当館から他館に依頼して文献複写を取り寄せる場合もあります。
 このように、利用者の希望する文献が自館に所蔵しない場合、所蔵する図書館を探し出して、提供出来るよう、図書館同士がお互いに協力し合う制度を**相互利用制度**といいます。

皆さんは、今まで当館に所蔵しない図書があった場合どうしていましたか？
 自分で近くの公共図書館で探したり、書店で探したりしていませんか？
 この**相互利用制度**は、全国の大学図書館とネットワークしているので、網羅的に文献を探し出せ
 きっと希望している文献が見つかるはずです。

本学図書館で見つからなかった場合、あきらめないで、是非レファレンス・カウンターにご相談ください。



レファレンス・カウンターには、『他館文献（複写・閲覧・借用）申込書』という申込用紙があります。
 この申込書によって、担当者が文献を取り寄せます。

(様式D)

他館文献（複写・閲覧・借用）申込書

※印の欄は該当するものに○を付けて下さい。

*依頼内容		複写 / 閲覧 / 借用 / 所蔵調査のみ		申込者 氏 名		利用者 ID ()		
<雑誌・記事> 誌 名	ISBN-			<図書> 書 名	ISBN-			
	巻 (号)				著者名等			
出版社 (発行所)				出版年月日		年 月 日		
複写箇所	著者名							
	論文題名 (該当 P-P)							
書誌典拠 (例によって知ったか (資料名) 等を御記入下さい)								
備 考 (閲覧希望の方は、希望日を御記入下さい)								
所蔵図書館				申込者への				
*請求書を依頼される方のみ、館員の説明をお聞きの上、お答え下さい。 Q 国内で入手が不可能な場合は、海外への依頼を希望しますか？ A: はい / いいえ / 未定				<input type="checkbox"/> 国内に所蔵館が見当たらない <input type="checkbox"/> 紙面ハード・コピーをご覧下さい <input type="checkbox"/> その他 (返答者別)				
検索	×:未収録	OPAC	ナリ・T	ナリ・A	ILL	GAT	NDL	その他
申込年月日	料金支払年月日		支払方法		料金合計		円	相手館
申込No.	宛先館	請求受付年月日		受付年月日		受付者		

申込手続

検索

事前に、各自で必ず当館に所蔵していないかをOPACで検索して下さい。

- * CiNiiで文献の全文を見ることが出来る場合もあります。
- * 紀要等、各機関のホームページから全文を見ることが出来る場合もあります。
- * 典拠（よりどころ）となった情報源、特にインターネットのサイト名等記憶するか、プリントアウトしてお持ち下さい。

申込書記入

各記入事項は、鉛筆以外の筆記具で、誤字・脱字に気をつけて漏れなくご記入下さい。

< 所蔵調査のみ >
当館に所蔵しない文献の所蔵館を探し出します。

受け取り・代金支払い

- ・申込後は、図書館内の掲示板にある各自のお名前に注意して下さい。
1週間前後で届く場合があります。
- ・文献到着後は、すみやかに小銭をご用意の上来館して下さい。

< 複写 >

当館に所蔵しない文献のコピーを取り寄せます。

- ・古い文献等は、相手館によっては謝絶される場合もあります。
- ・古い文献は、マイクロフィルムの複写になる場合もあります。
- ・文献を引用する場合、「奥付」は重要な情報源となりますので、同時に取り寄せるようにして下さい。
- ・相手館にもよりますが、関西圏であれば、1週間以内に入手可能です。
- ・複写料金は1枚35～50円で、送料も自己負担となります。

< 閲覧 >

当館に所蔵しない文献を相手館に行って閲覧させてもらう方法です。

- ・事前にレファレンスカウンターから発行する紹介状と学生証等を持って、相手館に行って下さい。
- ・往復の交通費は自己負担となります。

< 借用 >

当館に所蔵しない文献そのもの（現物）を閲覧したい場合に、相手館より現物を借り受けます。

- ・借り受けた文献は、2～3週間程度館内のみで閲覧出来ます。
- ・雑誌・紀要・古い文献は、借用出来ない場合もあります。
- ・往復の送料は自己負担となります。



← 掲示板

はじめて申込まれる方は、是非、レファレンス・カウンターまでおいで下さい。

2007年度後期 図書館展示と講演会のお知らせ

フランスの子ども絵本

今回の展示は、前期と後期に分けて展示いたします。

◆前期展示「民衆本から初期の絵本まで」

絵本の始まりを、素朴だけれどいきいきした民衆本、エピナル版画の一枚絵にまで遡って見てみましょう。一方、宮廷、貴族の子どもはその頃すでに革装、金箔押しの豪華本を手に入っていました。

18世紀末には、ベルカンの「子どもの友」が出、やがて教訓ではなく子どもを楽しませようという意図で、19世紀後半には大出版社が子どもの雑誌をこぞって出し始めます。セギュール夫人の「ばら色叢書」、「エツェル・コレクション」などは子どもの宝になりました。絵本の時代の初期のものとして、モンヴェル、アンジ、ルグランの絵本を見てみましょう。

◆後期展示「黄金時代から現代の絵本まで」

優れた挿絵のつけられた19世紀末のジュール・ヴェルヌの「驚異の旅」シリーズから始めて、20世紀初頭にポール・フォーシェの出した、ナタリー・パラン、ロジャンコフスキーなどの絵でよく知られている「ペール・カストール文庫」、ドビュシーのバレエ曲の楽譜絵本『おもちゃ箱』で有名なアンドレ・エレ、粹なレオポルド・ショヴォーなど、黄金時代の開花期の絵本を見てみましょう。またフランスの古きよき時代を舞台にしたジャン・ド・ブリュノフの「パパール」シリーズ、ラビエの愉快的な絵本、色彩豊かなデュエームの絵本、日本でも大人気のハーレンスレーベンの「リサとガスパール」シリーズなどにフランスのエスプリを感じて頂けたら幸いです。

展示場所：図書館 3階展示コーナー

展示期間：・前期 10月9日(火)～11月9日(金)

・後期 11月12日(月)～12月8日(土)

梅花女子大学図書館公開講座

フランスの子ども絵本

- 民衆本から初期の子ども向き絵雑誌 -

本学には児童文学科があるので、図書館にはおそらく他大学にはないフランスの子ども絵本がかなり所蔵されています。しかし通常は、保存のために閉架書庫（特別書庫）に置かれているので、来館者の目に触れる機会が少ないのを残念に思い、一度公開して多くの方に見て頂きたいと、上記のような展示を企画しました。

前期・後期の展示と併せて講演会を催しますが、ここでは、前期展示の中から、絵本の黄金時代に至る以前、すなわち児童観が確立する以前のフランスの子ども絵本の源流とも言える民衆本にまで遡ってその歴史を辿ってみたいと思っています。

講 師：梅花女子大学 名誉教授 石澤小枝子

日 時：10月25日(木) 13:00～14:30

受講料：無料

場 所：梅花女子大学 F棟

次回予告!

「所蔵資料展(クリスマス関連)」
 展示期間：12月中旬 ～ 2008年2月上旬



「所蔵資料展」
 展示期間：2008年4月上旬～5月上旬

「茨木の歴史と文化」(仮題)
 展示期間：2008年5月中旬～7月上旬

梅花女子大学図書館公開講座

「茨木の歴史と文化」(仮題)

講師：梅花女子大学文化表現学部教授 馬田綾子
 日時：未定
 場所：梅花女子大学



展示に関するお問い合わせは、梅花女子大学図書館まで。

TEL：072-643-8498(直) FAX：072-643-1952 E-Mail：library@baika.ac.jp

公開講座に関するお問い合わせ・お申し込みは、梅花学園生涯学習センターまで。

TEL：072-643-6297(直) FAX：072-643-6319 E-Mail：bcce@baika.ac.jp



B.L.T

Baika Library Times

(年2回刊 4月,10月)

B L T 第15号をお届けします。

巻頭に、情報メディア学科講師の瀬戸口先生から「ブラウジングの効用」と題して、興味深いお話をいただきました。ありがとうございました。

今回広報紙BLTを親しみやすく身近に感じていただけるような構成にしました。今後ともご愛読の程よろしく願っています。

発行が遅れましたことをお詫びいたします。

梅花女子大学図書館

〒567-8578
大阪府茨木市宿久庄2-19-5

図書館
電話 072-643-8498
Fax 072-643-1952
Email blibrary@baika.ac.jp
学園資料室
電話 072-643-8447
Fax 072-643-1952
Email shiryo@baika.ac.jp

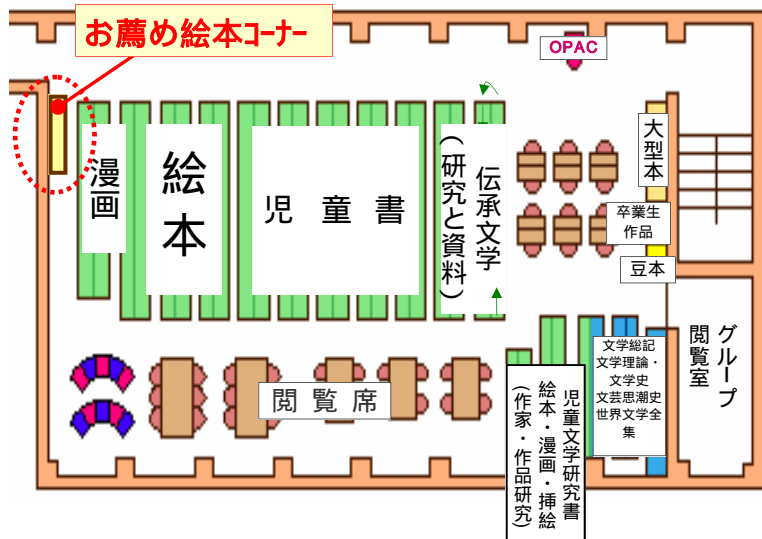


図書館ホームページ

URL <http://www.baika.ac.jp/lib>

4階南 児童文学のフロアに「お薦め絵本コーナー」ができました。

7月より児童文学フロアに「お薦め絵本コーナー」ができました。



「絵本は、表紙の絵を見せて並べたい」との考えでこのコーナーを作りました。並べられる冊数は少ないですが、随時話題の絵本、珍しい絵本等を並べます。

気に入った絵本がありましたら、是非手にとってご覧ください。貸出も可能です。

? ご不明な点は、メインカウンター、レファレンスカウンターにてお尋ねください。

内線：426

メールアドレスは上記をご覧ください。